令和3年度行政評価 事務事業評価シート（令和2年度実績）

事務事業コード	020104030	予算コード	01050500	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	小学校介助事業			正規職員数	0.35	国庫支出金	751	有効性	A	介助が必要な児童生徒は年々増加している。様々なケースがあるためきめ細やかな充実した介助が必要なため。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数	0.25	府支出金	321				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0.1	市債	0	効率性	B		
	■要綱・要領			歳出（千円）		その他	0				
	泉佐野市人権教育の基本方針			人件費総額	3,756	一般財源	120,199	妥当性	B		
						減価償却費	0				
						事業費	117,515	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円）			121,271	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当りコスト（円）			1,205			介助員の配置	
対象				活動指標		R2実績		公的関与	A		
特定の市民		対象数	235	障がい児介助員		87.0					
小学生の要介助児童				外国人介助員		10.0		実施主体・委託化	A		
事業の内容											
小学校介助事業として以下のように実施している。 ①障がいのある子どもに対する介助 ②介助については、身辺自立ができない、安全確保が困難である等、教育的配慮の要する子どもに対しての措置 ③外国からの転入生による受入のため、通訳の配置								他の事務事業との関連	A		
				成果指標		R2実績		透明性	A		
				要介助障がい児		223.0					
				要外国人介助者		12.0		財政健全化計画	該当なし		
								財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標		R2実績		改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				介助者一人当たり経費		516,046.8					
障がい等で配慮の要する子どもへの身辺介助等をする。											